



小平第一中学校

所在地 小平市仲町506番地
 電話 042-341-0048 FAX 042-341-0609
 電子メール gakkou@31.kodaira.ed.jp
 校長 栗林 昭彦 副校長 小野 定則
 生徒数 493名
 学級数 17学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕）4学級）
 教職員数 30名



【沿革】（抜粋）

- 昭和22年 小平町立小平中学校開校
- 23年 校章制定
- 25年 校旗制定
- 28年 校歌制定
- 32年 小平町立小平第一中学校と校名変更
- 33年 新校舎二階建増築落成
- 36年 標準服制定
- 37年 小平市立小平第一中学校と校名変更
- 40年 体育館完成
- 42年 プール完成
- 43年 鉄筋四階建校舎増築落成
- 平成3年 新体育館・屋上プール落成
- 9年 創立50周年記念式典挙行
- 11年 総合学習室・図書室新築工事完了
- 11・12年 文部省 スクールカウンセラー活用調査研究委託校
- 12・13年 文科省 生徒指導総合連携推進事業
- 15～17年 文科省人権教育総合推進事業
- 18～20年 文部省委託研究「新教育システム開発プログラム」研究協力校
- 19年 創立60周年記念式典挙行
- 20年 小平市教育委員会研究推進協力校
- 21年 小平市教育委員会研究発表
- 24年 小平市教育課題研究校
デジタル教科書等活用研究
- 28・29年 東京都教育委員会人権尊重教育推進校
小平市教育委員会研究推進校
- 令和4年 東京都型学校運営協議会設置
- 5年 コミュニティ・スクール設置
- 6年 小平市教育委員会研究推進校（2年次）

【教育目標】

人権尊重の精神を基調とし、生徒一人一人の持続的な幸福の実現を目指し、次の目標を掲げる。

- 賢い生徒
学業成績だけでなく、問題解決や自己表現、他者への共感等の力をもった生徒を育成する。
- 協働する生徒
よりよい人生や社会の実現に向けて、他者を理解し、協同する力をもった生徒を育成する。
- くじけない心のある生徒
困難や逆境に出会っても折れない心のしなやかさや回復する心の強さをもった生徒を育成する。



学習者用端末を
活用した授業

【学校の教育目標を達成するための基本方針】

令和6年度に取り組む11の施策と31の具体策

- 1 学力の向上を目指した指導の充実
 - ① 探究学習への取組
 - ② 協働する生徒の育成に向けた取組
 - ③ 個別最適な学びに向けた支援の実施
 - ④ 学習意欲を向上させる指導の充実
- 2 読書活動の充実・推進
 - ① 読書の質と量の向上にかかわる取組
 - ② 学校図書館を活用した学力向上の推進
 - ③ 読書環境の整備
- 3 教育のDX化の推進
 - ① ICTを活用した学習指導への取組
 - ② 校務の効率化・省力化に向けた活用
- 4 進路学習の充実
 - ① 計画的なキャリア教育の実施
 - ② 進学に向けた指導の充実
- 5 豊かな人間性の育成
 - ① 人権意識の定着
 - ② 他者への共感力を高める指導の推進
 - ③ レジリエンスの育成
 - ④ 校内規律の確立
 - ⑤ 学校行事による生徒の実践的な力の育成
 - ⑥ 部活動の充実と適正な実施
- 6 いじめ・不登校等への対応
 - ① いじめ防止に向けた指導の徹底
 - ② 不登校対策の実施
- 7 特別支援教育の充実
 - ① 生徒一人一人のニーズを意識した教育の実施
 - ② I組の指導の充実と通常学級との交流及び共同学習の推進
 - ③ 特別支援教室との連携と活用の推進
 - ④ 生徒情報の共有と生徒の状況に応じた指導の実施
- 8 安全教育の充実
 - ① 実践的な避難訓練の計画・実施
 - ② 情報モラル教育の実践
- 9 健康・体力の向上
 - ① 自らの健康・体力について考え行動できる生徒の育成
 - ② 「心の健康」に向けた取組の推進
- 10 コミュニティ・スクールによる取り組みの実施
 - ① 学校運営協議会の活動の活性化と支援
 - ② 外部の教育力の積極的な活用
- 11 信頼される学校づくりに向けた取り組みの実施
 - ① 服務規律の確立
 - ② 積極的な情報発信



小平第二中学校

所在地 小平市小川東町一丁目17番1号
電話 042-341-0244 **FAX** 042-341-1962
電子メール gakkou@32.kodaira.ed.jp
校長 吉田 功 **副校長** 相澤 史彦
生徒数 548名
学級数 19学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕）3学級）
教職員数 34名



【沿革】（抜粋）

- 昭和30年 小平町立小平中学校分校として開校
分校開校式、落成祝賀式
- 32年 小平町立小平第二中学校として独立開校
独立開校式を11月1日に行い、この日を創立記
日と制定
- 37年 創立5周年を記念して校歌制定
- 42年 体育館兼講堂落成・半地下循環プール完成
- 53年 創立20周年記念式典
- 54年 心障学級開設
- 62年 創立30周年記念式典
- 平成9年 創立40周年記念式典
- 12年 パソコン室改装
- 13・14年 市研究推進・協力校
- 14～16年 都二中地区教育サポートネット事業
- 15～17年 文科省人権教育総合推進事業
- 17～19年 都地域教育プラットフォーム事業
- 17・18年 東京学芸大学「ユビキタス教育実践」協力校
- 19年 創立50周年記念式典
- 21・22年 市研究推進校
- 24年 武蔵野美術大と連携 学校美術館化事業（ムサビ
る！）
- 25～27年 特色ある教育活動「自ら進んで学ぶ生徒の育成」
- 29年 創立60周年記念式典
- 29・30年 市研究推進校研究発表
- 令和元年 小・中連携型コミュニティ・スクール設置
- 4年 単独でコミュニティ・スクール設置
- 6年 小平市教育委員会研究推進校（1年次）

【教育目標】

- ・自ら考え、正しく判断し、積極的に実践する人間
- ・明るく健康で、情操の豊かな人間
- ・社会の一員として、協力し、向上に努める人間
- ・相手の人格や立場を尊重する人間

【目指す学校像・教師像】

- (1) 上級生が下級生のお手本になる学校。
- (2) 面倒見が良く、心の熱い教員のいる学校。
- (3) 落ち着いた雰囲気、生徒・保護者・地域から信頼される学校。

以上を「二中ブランド」として位置付け、実現に向け努力していく。



合唱コンクール 全体合唱

【教育目標を達成するための基本方針】（抜粋）

(1) 生徒のウェルビーイングを高める

- ①規則正しい生活リズムづくりと食育の推進
- ②いじめ防止と「生命（いのち）の安全教育」の実践
- ③学級を基盤とした係・委員会、班活動の充実
- ④学校行事（RIKUTAI、合唱コンクール、校外学習、宿泊行事）を通じた生徒の自主性の育成
- ⑤「生活ノート」や「WEBQU（ウェブキューユー）」、各種アンケートを通じた生徒理解と個に応じた対応の実施
- ⑥オンラインICT教材「e-board（イーボード）」、校内学習支援教室、小平市教育支援室「あゆみ教室」による重層的な校内支援の実施
- ⑦上級生がお手本になる「二中ブランド」の継承
- ⑧通常の学級と特別支援学級G組との学校行事等を通じた交流
- ⑨部活動を通じた他者との交流、自己技術の向上、学習との両立
- ⑩清掃の行き届いた清潔な学習環境づくり

(2) 生徒の学ぶ意欲や学力を向上させる

- ①朝読書の実施・継続
- ②二中スタンダード（UD（ユニバーサルデザイン））に基づく、わかる授業づくり
- ③主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善
- ④考える道徳の実践
- ⑤各種講演会・職場体験の実施、二中版「7つの習慣」づくりと推進を通してのキャリア教育の充実
- ⑥キャリアパスポートを活用した目標設定と自己評価活動の実施
- ⑦ICT機器や学習者用端末の積極的活用、端末の家庭での活用
- ⑧オンラインICT教材（「e-board（イーボード）」）による家庭学習の支援（全学年）
- ⑨生徒の非認知能力を高める校内研究の実施
- ⑩特別支援教室「一橋」と連携した指導による生徒の安心と自信の向上

(3) 家庭や地域との連携を強化する

- ①学校公開や道徳授業地区公開講座の実施
- ②各種保護者会及び年2回三者面談の実施
- ③各種便り、ホームページ、メールによる情報発信
- ④地域人材・学校支援コーディネーターとの協働
- ⑤小・中連携の日や新入生体験入学・部活動体験（見学）を通じた小・中連携の取組の充実
- ⑥「副籍」による特別支援学校との交流実施
- ⑦学校経営協議会の充実と学校評価に基づく学校改善
- ⑧「相談フォーム」への速やかな対応による信頼の構築
- ⑨避難所開設準備委員会と連携した避難訓練の実施
- ⑩青少年や地域イベントへの生徒の協力

(4) 教職員一人一人が高い志をもち、指導力・組織力を高める

省略（10項目の取組指標・詳細は本校HPに掲載）



小平第三中学校

所在地 小平市鈴木町一丁目311番地
 電話 042-341-0575 FAX 042-341-0619
 電子メール gakkou@33.kodaira.ed.jp
 校長 平沢 晃 副校長 鈴木 勝博
 生徒数 656名
 学級数 21学級(うち特別支援学級(知的障害〔固定〕)3学級)
 教職員数 35名

【沿革】(抜粋)

昭和35年 小平町立小平第一中学校分教室として発足
 小平町立小平第一中学校分校として開校
 分校開校式、開校祝典挙行
 36年 小平町立小平第三中学校として創立
 初代校長 金丸勝人就任
 開校式挙行 この日を開校記念日に制定
 小平第三中学校「父母と先生の会」(PTA)創立
 校章制定・校旗披露式
 37年 校歌制定、発表式
 小平市立小平第三中学校と校名改称
 38年 二代校長 佐川定之助就任
 40年 学校プール竣工
 43年 体育館竣工
 44年 三代校長 玉城 佑彦就任
 45年 岩石園完成
 47年 四代校長 羽崎 一男就任
 49年 五代校長 菊地 全明就任
 52年 六代校長 上沼 舜二就任
 56年 20周年記念式典、祝賀会挙行
 57年 七代校長 相沢 周三就任
 62年 八代校長 坂本 忠夫就任
 平成2年 九代校長 近藤 實就任
 3年 30周年記念式典、祝賀会挙行
 5年 十代校長 武田 一朗就任
 8年 十一代校長 菊池 章雄就任
 12年 十二代校長 竹内 良夫就任
 13年 40周年記念式典、祝賀会挙行
 16年 十三代校長 加藤 忠就任
 20年 特別支援学級(8組)開級
 23年 50周年記念式典、祝賀会挙行
 25年 十四代校長 田口 克敏就任
 27年 十五代校長 峯岸 貴彦就任
 令和3年 十六代校長 田村 孝夫就任
 60周年記念式典
 5年 十七代校長 平沢 晃就任

【教育目標】

健康 ゆたかな心 たくましいからだ
実践 進んで学び、積極性を養う
協力 ひとりではみんなのために みんなはひとりのために



運動会・閉会式



【目指す学校像】

- 1 子供にとって「安心して自己実現のできる学校」
- 2 保護者にとって「信頼でき、協力したくなる学校」
- 3 教職員にとって「チームとして力を生かし、主体的に課題を解決できる学校」
- 4 地域にとって「内外に開かれ、地域とともに歩む学校」

【今年度の取組】

- ① 生きる力の育成
 - ・三つの考える力(自分を考える力、学習を考える力、人を考える力)の育成
 - ・教育活動全体を通し、キャリア教育の視点に立ち、生徒一人一人の個性・能力の伸長を図り、長所を伸ばす指導に努め、将来の目標に向けて努力する態度と自尊感情・自己肯定感を育む。
- ② 確かな学力の育成と学習意欲の向上
 - ・授業の充実(3中スタンダードの実施)
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - ・自主学习支援(地域未来塾・学習者用端末の活用)
- ③ 特別支援教育の充実
 - ・校内委員会の充実を図り、特別支援教育の視点を踏まえた合理的な配慮を進め、特別な支援を必要とする生徒への丁寧かつ適切な指導を行う。
- ④ 豊かな心の育成
 - ・あいさつと礼儀、マナーを大切にする。
 - ・人権教育の推進
 - ・思いやりの心を育み、いじめやを許さない、偏見や差別のない豊かな人間関係を築けるよう教育活動全体を通して指導する。
 - ・道徳教育の充実
 - ・自己の生き方や行動の在り方を深める、「考え、討論する道徳」を推進する。
 - ・体験活動の充実
 - ・学校行事、体験的な活動の充実を図り、生徒の自己実現の機会を多くし、主体的に考え、行動する力を育成する。
- ⑤ つよい心と健やかな体の育成
 - ・教育相談の充実
 - ・自他の生命と安全を尊重する態度の育成
 - ・防災教育の推進
 - ・豊かなスポーツライフの創造
- ⑥ 子供たち、保護者、地域から信頼される学校づくり
 - ・安全管理、安全指導、安全点検の徹底
 - ・環境の整備(人的環境・物的環境)
 - ・情報発信(たより、学校メール、HPの活用)



小平第四中学校

所在地 小平市学園西町一丁目3番1号
 電話 042-341-4344 FAX 042-341-4258
 電子メール gakkou@34.kodaira.ed.jp
 校長 関 勝志 副校長 池上 大輔
 生徒数 580名 学級数 17学級
 教職員数 38名

【沿革】(抜粋)

- 昭和39年 第1期工事着工
 市議会で小平第四中学校設立議決
- 40年 第1回入学式・開校式 校章制定
- 41年 校歌制定・翌27日発表会
- 42年 校旗樹立式
 湯川秀樹博士門標取付
- 46年 47年度より第一中学校区の一部を本校学区に編入
- 50年 創立10周年記念式典
- 51年 上水中学校開校により本校学区変更
- 56年 老人福祉の善行表彰受賞
- 60年 創立20周年式典
- 平成元年 東京都進路指導研究推進校指定
- 4年 パソコン教室完成
- 7年 創立30周年記念式典
- 10年 東京都「いじめ等の協力推進」指定
 スクールカウンセラー配置
- 15年 小平市研究推進校指定(平成16年 研究発表)
- 17年 創立40周年記念式典
- 20年 耐震補強及び大規模改修工事完成
- 23年 小平市研究推進校指定(平成24年 研究発表)
 研究奨励個人、グループ研究校指定
- 26年 一橋学級(通級学級)開設
- 27年 創立50周年記念式典
- 令和元年 小平市教育委員会研究推進校指定
 (令和3年 研究発表)
- 5年 体育館冷暖房設備設置工事竣工
 大規模改修工事(I期工事)竣工
- 6年 コミュニティ・スクール設置

【教育目標】

- (1) 自分で考え進んで実践する人間
- (2) 公共心に富み情操豊かな人間
- (3) 勤労を尊び責任を重んじる人間
- (4) 健康でたくましい人間

【教育目標を達成するための基本方針】

- ① 生徒が持続可能な社会の創り手となるよう自立を支援するとともに、共生社会を形成し社会に貢献する資質と態度を育成する。「誰一人取り残さない学校」を実現する。
- ② 望ましい学習習慣を形成し基礎学力の定着を図る。「主体的・対話的で深い学び」の実現のために指導方法を工夫・改善するとともに、習得した知識・技能を活用する学習活動の充実を図り、「確かな学力」を育成する。
- ③ 道徳教育を充実し、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。体験的活動や探究活動を充実し、社会性や創造性、表現力を育み、「豊かな人間性」を育成する。
- ④ 保健体育科の授業や体育的活動、部活動等を通して体力の向上を図り、生涯にわたり主体的に運動に親しむ資質と能力を身に付けるとともに、食育など健康教育を充実し、「健康と体力」を育成する。
- ⑤ 人権尊重に基づき、人権教育と道徳教育を通して規範意識を醸成するとともに、生命尊重や思いやりの心を育て、いじめや暴力行為を根絶する。自己肯定感を高め、SOSの出し方に関する教育を推進し、自殺の未然防止を徹底する。



- ⑥ インターネットやSNSの利便性の陰に隠れた危険性や弊害など、正しい知識を身に付けさせ、健康で安全な生活と望ましい人間関係を構築するために、適正な使い方を指導する。また、性暴力の加害者や被害者、傍観者にならないよう、生命(いのち)の安全教育を推進するとともに、薬物乱用防止について正しく指導する。
- ⑦ 全教職員が障がいや特別支援教育、不登校への理解を深めるとともに、コーディネーターを中心に校内委員会を効果的に機能させ、支援が必要な生徒に対して適切な支援を積極的に行う。別室「カルガモ教室」の運用やユニバーサルデザイン視点での環境整備、授業改善を推進する。
- ⑧ 将来の生き方について考え、夢や目標をもち、主体的かつ適切に進路選択する資質と能力を養う。社会的・職業的自立と自己実現をめざしたキャリア教育を推進する。
- ⑨ オリンピック・パラリンピック教育「学校2020レガシー」として、ボランティアマインド及び障がい者理解を設定するとともに、ESDと関連付けた教育活動を推進する。
- ⑩ SDGsについて理解を深め、各教科及び道徳科、総合的な学習の時間、特別活動等の内容と関連付けるとともに、防災及び環境問題の解決に重点を置いてESDを推進する。
- ⑪ 都型学校運営協議会を基盤として、地域教育コーディネーターや青少年、自治会など、地域との連携を強化し、コミュニティ・スクール導入に向けて基礎を構築する。また、近隣の大学と連携し、教育環境の整備や人材の確保、教育資源の活用、防災・防犯体制の構築等を推進する。
- ⑫ 学校公開や行事、保護者会、教育相談等を効果的に実施して信頼関係を構築し、学校と家庭が一体となった教育活動の充実及び家庭の教育力の向上を図る。保護者評価を学校経営に反映させる。
- ⑬ 9年間を見通した四中校区の小・中連携教育を推進し、同じ目標に向かって「知・徳・体」を育成する。

【特別支援教室「一橋」の教育目標】

- (1) 自己理解や自己受容を深め、意欲をもって生活する。
- (2) 友達及び教師と円滑で望ましい人間関係を形成する。
- (3) 学習及び生活上の困難を主体的に克服し、自立する。
- (4) 将来の生き方を考え、夢や目標をもって生きていく。

【一橋学級の教育目標を達成するための基本方針】

- ① 校内委員会での情報共有とともに、専門家の助言により、指導内容の評価・改善を図り、より効果的な支援を行う。
- ② 自己肯定感を育むとともに、コミュニケーションスキルを身に付け、在籍学級で安心して生活できるようにする。
- ③ 個に応じた指導及び教材の効果的な活用を通して自立を支援し、よりよく生きる力を身に付ける。
- ④ キャリア教育を通して自己肯定感を高め、主体的に進路選択し、夢や目標をもち逞しく生き抜く力を身に付ける。



第60回運動会 3年生全員リレー



小平第五中学校

所在地 小平市小川町一丁目798番地
電話 042-341-6795 **FAX** 042-341-6797
電子メール gakkou@35.kodaira.ed.jp
校長 伊藤 克行 **副校長** 木村 一史
生徒数 621名
学級数 21学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕）4学級）
教職員数 37名

【沿革】（抜粋）

昭和46年 小平市立小平五中学校開校
（開校記念日は6月7日）
プール完成
47年 体育館完成
48年 校歌制定 第1回卒業式（4学級 150名）
49年 市研究推進校発表
56年 創立10周年
58年 市研究奨励校発表
61年 校舎大規模改修工事開始
平成3年 創立20周年
5年 校舎大規模改修工事終了
8年 市研究奨励校発表
12年 P T A組織制定
13年 創立30周年
17年 小平市教育委員会研究協力校
18年 学校支援ボランティア活動開始
21年 特別支援学級8組開設
23年 創立40周年
25年 市教育研究発表
29年 パラリンピック応援校
令和元・2年 都教委・市教委
「法」に関する教育研究指定校
N I E実践指定校
3年 創立50周年

【教育目標】

人間尊重の理念を正しく理解し、健康で自ら学ぶ意欲にあふれ、自然と平和を愛し国際社会に貢献できる生徒の育成をめざし次の目標をおく。

○考える人間

○たくましい人間

◎思いやりのある人間

この目標をもとに、知・徳・体のバランスのとれた生徒を育てる。

- ・自ら学び、考えて行動できる人間（知）
- ・心身ともに健康で、柔軟でたくましい人間（体）
- ・互いの人格を尊重し、思いやりにあふれる人間（徳）



「感動体験」互いに応援し合い、全力で取り組んだ運動会



【教育目標を達成するための基本方針】（抜粋）

- （1）人権尊重教育の推進
 - ・十分な生徒理解の上に立って、学年・学級経営を行う。
 - ・人を傷つける言動があった場合には即時に対応する。
 - ・生徒が起きている問題を自分事として捉え、解決に向かっていけるような学年・学級経営を行う。
- （2）学習指導要領の実現に向けた授業改善と教育活動の充実
 - ・学力向上を目指した指導方法の工夫を行う。
 - ・体力向上の取組を通して心身の健康づくりに努める態度を育成する。
 - ・ICTを活用した教育活動の工夫を行う。
- （3）生徒の健全育成に向けた特別活動と生徒指導・進路指導の充実
 - ・特別活動を充実させ、生徒が主体的に生徒会活動や学校行事に取り組むことができるようにする。
 - ・教職員が生徒理解に努めるとともに、教職員全体で共通理解、共通実践を徹底し、生活指導を充実させる。
 - ・特別活動を要として、教科横断的にキャリア教育の充実をはかる。
 - ・部活動の教育的意義を踏まえ、ガイドラインに沿った適切な運営体制の下、効果的な部活動を実施する。
- （4）特別支援教育の充実
 - ・特別な支援を必要とする生徒一人一人の個に応じた指導を組織的に推進する。
 - ・ユニバーサルデザインの視点をもって教育環境の整備及び授業改善を行う。

【特色ある教育活動】

- ①校内研究

「生徒理解とより良い支援方法」と「機能的なコミュニティスクールのあり方」の2つを柱として研究に取り組む。
- ②朝読書

毎朝、登校後の始業前に読書を行うことで、落ち着いて一日をスタートさせる。
- ③あいさつデー

毎月5のつく日の内一日を「あいさつデー」とし、生徒会役員や専門委員が登校する生徒にあいさつを呼びかける。
- ④児童会・生徒会サミット

校区の小学校と連携し、テーマに基づく協議を行い、各校のこどもたちの実践的・自治的活動を推進する。
- ⑤学校支援ボランティア

保護者・地域・学生等が、学校支援ボランティアとして学校が必要とする教育活動や環境整備等の支援を行う事業を支援する。また、地域人材を活用した、「放課後学習教室」を開設する。



小平第六中学校

所在地 小平市大沼町六丁目4番1号
 電話 042-341-6796 FAX 042-341-6798
 電子メール gakkou@36.kodaira.ed.jp
 校長 大島 義明 副校長 石塚 武志
 生徒数 635名 学級数 18学級
 教職員数 33名

【沿革】 (抜粋)

昭和46年 小平市立小平第六中学校開校
 教育目標及び図案化した校章を決定
 47年 南棟鉄筋校舎完成、体育館竣工
 48年 校旗・校歌制定
 49年 文部省、東京都主催陶芸研究会実施
 50年 市教育推進校として研究発表会実施
 53年 南棟増築校舎完成
 56年 創立10周年記念式典
 57年 校舎増改築・体育館倉庫工事完了
 60年 校舎外装工事・屋上改修工事完了
 平成3年 創立20周年記念式典
 6年 コンピューター室、新視聴覚室完成
 13年 創立30周年記念式典
 17年 北校舎耐震補強工事
 18年 第2期耐震補強工事
 20年 プール改修工事
 23年 創立40周年記念式典
 24年 普通教室エアコン設置工事
 26年 コミュニティ・スクールに指定
 28年 スーパーアクティブスクールに指定
 令和2年 小平市教育委員会研究推進校
 3年 創立50周年記念式典挙行政
 小平市教育委員会研究推進校
 5年 体育館冷暖房完備

【教育目標】

敬 愛 自他を尊重し、何事にも感謝の気持ちをもって、
 助け合い、励まし合う思いやりのある生徒
 勤 勉 仕事や勉強などに最善を尽くして努力し、自分の
 行動に責任をもつ生徒
 創 造 自ら学ぶ意欲をもち、他者との対話や協働を通し
 てより価値のあるものを創り出していく生徒



学習者用端末を活用した授業



【目指す学校像】

- 1 自らに可能性を感じ、主体的に活動し、将来に向けて挑戦できる魅力ある学校
- 2 安心と信頼があり、子供を通わせたい学校
- 3 地域住民や保護者、関係者・学校が協働して、生徒の成長を支えていく、地域と共に歩む学校

【3つの力の育成に向けた10の取組】 (主な取組)

- ① 学力 (新しい時代の創造を生み出す学力) の向上
 - ・毎日の授業を大切に (対話的協働的学びへの改善、新・六中スタンダード)
 - ・朝読書の徹底、家庭学習の充実 (自主学习支援、学習支援ソフトの利用) ・タイムマネジメントの継承と推進 他
- ② 生活指導の充実
 - ・生徒や保護者との信頼関係が基本 ・いじめを許さない
 - ・生徒の自主性と主体性を育む生徒会活動の充実 他
- ③ 自己実現の達成を図る
 - ・生きる力の育成 (進路・進学指導の充実)
 - ・人間関係形成力の育成 (特別活動の充実)
 - ・コミュニティ・スクール、キャリア教育の連携 他
- ④ 地域の教育力の活用と小中連携教育の推進
 - ・コミュニティ・スクール各種プロジェクトの推進
 - ・六中地区コミュニティ・スクールの推進 他
- ⑤ 心身の健康促進
 - ・体力向上と適正な生活習慣づくり
 - ・不登校生徒への支援 (学習支援ソフトにより学び直し、小平福祉園との連携による学習教室、農園芸教育の推進による社会性の保障 他
- ⑥ 家庭・地域社会との連携
 - ・情報発信の充実、学校、学年、学級便りの発行
 - ・地域との連携 ボランティア活動の充実 他
- ⑦ 環境教育と環境の整備
 - ・学習環境の整備
 - ・毎月の安全点検の実施、迅速な対応
 - ・校舎内外を明るく 季節を感じる環境作り 他
- ⑧ 防災教育の充実
 - ・防災教育・安全指導の実施 自助・共助・公助
 - ・避難訓練の充実
 - ・保護者・地域との連携 (いっとき避難所) 他
- ⑨ 特別支援教育の推進
 - ・特別支援教育校内委員会の充実
 - ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携・学校運営協議会との連携 他
 - ・不登校生徒対応他
- ⑩ 学校事務における管理や適正化
 - ・分掌との円滑な連携と効率的な予算執行
 - ・適正な会計処理や会計事故の防止
 - ・服務規律の徹底、法令遵守 等



上水中学校

所在地 小平市上水南町一丁目7番1号
 電話 042-323-8611 FAX 042-323-8610
 電子メール gakkou@37.kodaira.ed.jp
 校長 市川 順康 副校長 藤本 達
 生徒数 307名
 学級数 12学級（うち校内別室学級3学級）
 教職員数 30名

【沿革】(抜粋)

昭和50年 市議会において、小平市立上水中学校を7月1日付で設置する旨議決
 開校記念式及び始業式挙
 51年 体育館完成
 52年 東京都北多摩特別活動研究発表校
 57年 給食開始
 60年 小平市教育奨励校
 創立10周年記念式典挙
 平成3年 文部省中学校生徒指導総合推進校
 6年 コンピュータールーム完成
 7年 創立20周年記念式典挙
 11年 小平市教育委員会研究推進校
 12年 小平市教育委員会研究協力校
 14年 プール改修工事完了
 17年 創立30周年記念式典挙
 18年 小平市教育委員会研究推進校
 19年 小平市教育委員会研究協力校
 21年 校舎耐震工事Ⅰ期
 22年 校舎・体育館耐震工事Ⅱ期
 23・25年 東京都言語能力向上推進校
 26・27年 小平市教育委員会研究推進校
 27年 創立40周年記念式典挙
 放課後子ども学習教室開始
 28・29年 東京都道徳教育推進拠点校
 コーディネーショントレーニング地域拠点校
 30年 上水中避難所マニュアル完成
 令和元年 オリンピック・パラリンピック教育推進事業
 「夢・未来プロジェクト」実施
 オリンピック・パラリンピック教育推進事業
 パラリンピック競技応援校
 3・4年 小平市教育委員会研究推進校
 6年 チャレンジクラス（不登校対応校内分教室）
 「上水さくら学級」開設
 コミュニティ・スクール設置



体育大会応援旗



【教育目標】

人間尊重の精神を基調とし、知性、感性、道徳心や体力を育み、生涯を通じ主体的に学び、社会に貢献できる人間性豊かな生徒の育成を目指し、教育目標を次のように定める。

- 自ら考え、進んで実行する人
- 心豊かで思いやりのある人
- 心身ともにたくましい人

【教育目標を達成するための基本方針】

- 1 確かな学力の育成
 - 生徒が自ら学び、考えを深め、実践に移す力を身に付けさせるために、基礎・基本の定着に重点を置きながら問題解決型学習（生徒に調べさせ、考えさせ、討議させ、発表などを行わせ、その活動を振り返らせる）の実践に努め、授業改善に取り組む。
 - 家庭との連携の下、学習習慣を確立させ、自立した生徒を育成する。
 - 少人数授業や個別学習を通して苦手意識の強い生徒の学力の底上げを図る。
 - 令和3・4年度の研究推進校として取り組んだ「ICTを活用した授業改善・指導の充実」の成果を生かし、また新たな課題に対処する継続した取組により、学力向上を図る。
- 2 豊かな心の育成と健やかな体の育成
 - 道徳科を要として教育活動全体を通して、自他共に大切にできる心や、相手の立場に立って行動できる態度を身に付けさせる。加えて高い規範意識の育成に努め、互いに人格を認め合う姿勢を育み、いじめのない学びの場を構築する。
 - 保健体育の授業や昼休みにおける運動量を一層確保して、体力を向上させる。また、薬の教室、SOSの出し方に関する教育など保健分野の授業の充実を図る。
- 3 特別支援教育の推進
 - こだいら共通プログラムを踏まえた上で、特別支援教育を柱とした教育活動を実践する。また、小平第三小学校と連携を深め、一貫性・継続性を重視した教育の実践に努めるとともに、学習者用端末をはじめICT機器の効果的な活用についての連携も図る。
- 4 キャリア教育の推進
 - 学級活動を要としながら、学校教育全体を通して一人一人のキャリア形成と自己実現を促す。
 - 学区内の全小学校との連携を図るため、キャリア・パスポートを活用する等、学校段階間の円滑な接続を目指す。



花小金井南中学校

所在地	小平市花小金井南町一丁目9番1号
電話	042-465-0451 FAX 042-465-0410
電子メール	gakkou@38.kodaira.ed.jp
校長	堀井 賢治 副校長 飛永 直子
生徒数	561名
学級数	18学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕）3学級）
教職員数	32名

【沿革】（抜粋）

昭和53年	生徒291人、7学級で開校 花南中学校新築落成及び開校記念式典挙行 プール竣工、体育館竣工、校章制定
54年	校歌制定
56年	「ゆりの木」17本植樹（緑の銀行寄贈）
60年	防災・防震受水槽設置 58・59年度小・中連携教育研究発表会
62年	特別教室4教室竣工 創立10周年記念式典
平成6年	生垣工事完成 校舎改修
9年	創立20周年記念式典
10年	心の相談室設置
13年	全日本中学校技術・家庭科研究大会研究授業、研究発表 「生きる力」をはぐくむ、総合的な学習の実践について研究発表
19年	創立30周年記念式典 小平市研究協力校
20年	耐震補強工事 小平市研究協力校発表
21年	「特色ある教育活動」研究発表
22年	増築棟完成
23年	特別支援学級開設
24年	東京都「自尊感情や自己肯定感を高める教育」推進校
24・25年	東京都スポーツ教育推進校
27年	オリンピック・パラリンピック教育推進校 小平市教育委員会指定 研究推進校1年次 「共により良く生きるための道徳授業の実践」
28年	小平市教育委員会指定 研究推進校2年次 「共によりよく生きるための道徳の時間の実践」
29年	創立40周年記念式典
令和2年	地域開放型体育館完成
3年	パラリンピック競技応援校「ボッチャ」 旧体育館跡地にテニスコート完成
4年	小平市教育委員会指定 研究指定校1年次 「主体的に学習に取り組む生徒の育成」
5年	小平市教育委員会指定 研究指定校2年次 「主体的に学習に取り組む生徒の育成」 コミュニティ・スクール設置



研究 学習者用端末の活用や小グループ活動の様子



【教育目標】

豊かな心を養い
学力、体力の向上をめざし
未来へはばたく人物を育成する

- 1 心身ともに健全で、自らを鍛え努力する人
- 2 進んで学び、社会のために尽くす人
- 3 認め合い、支え合う心優しい人

【教育目標を達成するための基本方針】

- コミュニティ・スクールとして、社会に開かれた地域と共に歩む学校づくりを推進する。学校からの情報発信を積極的に行い、関係小学校や青少年対策地区委員会、民生委員等、外部人材との連携体制を推進する。
- 全ての生徒に「生きる力」を育むことを目指し、生きて働く知識、技能の習得と未知の状況でも対応できる思考力、判断力、表現力等の育成、学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養を相互に図りながら、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となる生徒を育成する。令和4年度から2年間の小平市の研究推進校の指定を受け、特別支援教育の視点に立った環境づくり・ICT機器の積極的な活用から主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。誰にでも分かりやすい授業を推進し、生徒の確かな学力の向上を図ることにより、生徒の力を鍛え、自信をつけさせる。
- 全教育活動を通して道徳教育を行い、いじめや偏見・差別のない好ましい人間関係を育み、他と協力ができる思いやりや心の豊かな人間性・社会性の育成を図る。障がい理解学習や福祉に関する学習を進め、人権尊重の精神を育む。また、「特別の教科 道徳」の時間の充実を図ることにより心の教育を推進する。
- 生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践していくとともに、現在及び将来の体力の向上を図る実践力の育成を目指す、生徒が自ら進んで運動に親しむ資質・能力を身に付け、心身を鍛えることができるようにする。また、パラリンピック競技応援校の取組を継続し、スポーツの価値や効果を再認識するとともに、国際的な視野をもって世界の平和や多様性の尊重の精神を育み、社会で活躍できる人材の育成に努める。また、日本文化を大切にするとともに、これらを尊重する態度を育成する。
- 家庭や地域社会及び関係機関等との連携・協力を密にし、生徒の健全育成を広い視野から考える開かれた生徒指導の推進を図る。
- 地域社会や生徒の実態に応じ、創意工夫を生かした総合的な学習の時間を計画し、豊かな心や創造性の涵養をめざす。体験活動等、多様な表現や鑑賞の活動等を通して、勤労を尊ぶことや、自ら課題を見つけ、自ら解決する資質や能力の育成を図る。
- すべての生徒に「生きる力」を育むことをめざし、基礎的・基本的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の涵養をめざす。